

# 空港からの「広域的な観光型乗合タクシー」による利用転換実証実験の概要 (平成16年7月～平成18年3月)

## 背景

- ・秋田には、豊かな自然と佇まいを持った観光地が広域的に点在。
- ・秋田空港は中心市街地から離れており、空港から直接観光地に向かう二次アクセスが皆無。
- ・観光地への大量の自家用車の流入による環境悪化の心配。



やむなくレンタカーなどの個別交通機関を利用して観光地を訪れていた観光客を乗合タクシーに転換させることによって利便性向上を図り、自然環境への負荷を軽減させ、観光資源の保護を図る。

## 実験の概要

- ・秋田空港から主な観光地まで乗合による安価なジャンボタクシー（秋田エアポートライナー）を運行して、費用や時間の軽減を図り、観光客の利便性を向上させ、レンタカーなどの個別輸送から利用転換を図る。

【企画立案】 秋田二次アクセスを進める会（交通事業者、観光関係者、空港関係者などにより構成）

【運行主体】 秋田二次アクセスを進める会員の交通事業者

- ・電話のみならず、インターネット上でもエアポートライナーの予約が可能であり、また、宿泊施設の予約や周辺観光・空車・空室情報の提供、併せて顧客管理、配車業務が可能となる一元的なシステムを構築して利便性を図る。



## 実験の途中経過

実験開始後、HP上からのタクシーの予約を宿泊施設の予約等とも連動して行うことができるシステムを構築したことや横手・湯沢方面へのコースを新たに設定したことなどにより、前年度に比べて1.5倍の増客効果が図られた。

平成17年4月より本荘・象潟方面へのコースも新たに設定するなど、今後さらに広域的な路線網の構築を目指している。